

星空ガイド

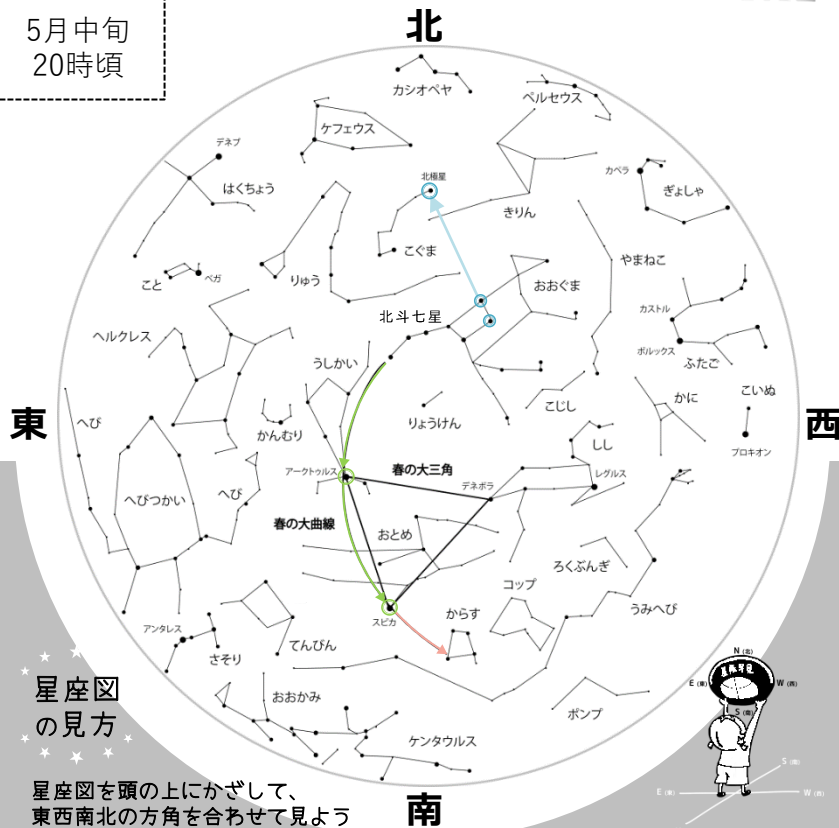
2020年5月

『風薫る（かぜかおる）』

夏の兆しをはらんだ風が緑の樹々を渡り、匂うような清々しさを感じることを風が薫るととらえた言葉です。

夏に向かう今は、気持ちのいい季節ですね。梅雨の季節が訪れる前に、夜外に出て、星空を眺めてみませんか。

5月中旬
20時頃



星座図
の見方

星座図を頭の上にかざして、
東西南北の方角を合わせて見よう

月の満ち欠け

1日(金) 上弦

7日(木) 満月

14日(木) 下弦

23日(土) 新月

30日(土) 上弦

惑星の動き

水星 日の入り直後の西の低空
(マイナス0.7等)

金星 日の入り直後の西の低空
(マイナス4.5等)
※下旬からは観察が難しい

火星 日の出前の南東の空
(0.4等から0.0等)

木星 日の出前の南の空
(マイナス2.5等)

土星 日の出前の南の空
(0.6等から0.4等)

今月の星空散歩

午後8時頃、北斗七星が空の高いところに見えています。北斗七星とは、『北の空にあるひしゃくの形をした7つの星』という意味です。ひしゃくの先の2つの星をつないで、この長さを5倍伸ばした先には、北極星が輝いています。北極星は1年中、北の空に見えているので、方向を知る良い手掛かりになります。北極星から作る小さなひしゃくの形は、こぐま座。北斗七星とよく似ていますね。実は北斗七星はこぐまのお母さん、おおぐま座の背中からしっぽを作る星でした。けれど、おおぐまの尻尾、よく見てみるとまんまるではなくて、長いですよ。ギリシャ神話によると、神様が2匹の熊を星座にすると、慌てていたので、尻尾をぎゅっと持って、ぐるぐる振り回して放り投げたからだそうです。長くのびてしまった熊の尻尾を、南へ伸ばしていくと、オレンジ色の1等星アークトゥルスが、更に伸ばした先には、青白い1等星のスピカが見つかります。この大きな夜空のカーブを春の大曲線といいます。それぞれの1等星は星座の目印。アークトゥルスと周りの星を結んでネクタイの形を作ると、うしかい座。スピカと周りの星でアルファベットのYの字を描くと、おとめ座。春の大曲線は、いびつな四角形で行き止まり。この星座は、からす座といいます。からす座は、にほんブログ村長い胴体をしたうみへび座の背中に乗っかっています。うみへび座は、頭が昇り始めてから尻尾の先が見えるまで、7時間もかかる星座界イチの大きな星座です。他にも見どころたくさん春の星空。ぜひご覧ください★

春の星空の目印

Point ① 北斗七星

★ 北斗七星 → 北極星
★ 北斗七星 → レグルス(しし座)

Point ② 春の大曲線

★ 北斗七星 → アークトゥルス → スピカ

Point ③ 春の大三角

★ アークトゥルス・スピカ・デネボラ(しし座)

春の星座はBIG!

大きい星座ランキング

星座は全部で88個

〔第1位〕うみへび座(1,303平方度)

〔第2位〕おとめ座(1,294平方度)

〔第3位〕おおぐま座(1,279平方度)

ちなみに小さい星座ランキング第1位:みなみじゅうじ座(68平方度)、第2位:こぐま座(72平方度)、第3位:や座(80平方度)です。

※天球全体の広さ(面積)は約41,000平方度です。